

令和6年度 東京都防災（語学）ボランティア研修

令和6年度は研修を4回行いました。第1回、第2回はオンデマンド研修、第3回は対面、第4回は公開講座とバラエティーに富んだ研修となりました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

総合チラシ

東京都

令和6年度

参加費
無料

東京都防災（語学）ボランティア研修

東京都防災（語学）ボランティアの皆様へ

日頃から東京都の事業にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
防災や災害時の対応などに関する知識の習得及びスキルアップを目的とした研修を、以下のとおり実施いたします。
各研修の詳細及び申し込みについては、別途お送りするチラシをご確認ください。

第1回

オンデマンド開催

災害現場での異文化理解基礎研修
—誰ひとり取り残さない災害対応を目指して—



講師

田村太郎氏

一般財団法人
ダイバーシティ研究所代表理事

第2回

オンデマンド開催

災害時に役立つ翻訳の心得
—語学ボランティアの基礎知識—



講師

松本義弘氏

一般社団法人
国際文化研修ラボ代表理事

日程

Ⅰ期 9月17日(火)~10月31日(木)

Ⅱ期 11月11日(月)~12月27日(金)

第3回

対面

災害時に役立つ通訳の心得
—語学ボランティアの基礎知識—



講師

アビー
ニコラス・フリーユ氏

駒澤大学講師

第4回

オンライン(公開)

事例研究
多文化社会における災害対応



講師

横田能洋氏

認定NPO法人
表城NPOセンター・コモンズ代表理事

日程

11月2日(土)
14:00~16:00

定員

30名

日程

12月12日(木)
14:00~16:00

定員

500名

東京都防災（語学）ボランティア活動報告

防災（語学）ボランティアの皆さんの活動の様子をお伝えします。

令和6年度 東京都防災（語学）ボランティア研修①

第1回 災害現場での異文化理解基礎研修

第1回は、昨年に引き続きオンデマンド研修としてI期、II期の2回に分けて配信しました。当研修ですっかりお馴染みとなりました田村先生による多文化防災の基礎研修として、たくさんの方に受講していただきました。この研修では、災害時の時の外国人支援の基礎知識（ストック情報とフロー情報の違いなど）及び災害の時のコミュニケーション（防災ボランティアとしての配慮、異文化理解）について学びました。

チラシ

令和6年度

参加費無料

東京都防災（語学）ボランティア研修

オンデマンド開催

災害現場での異文化理解基礎研修 「誰ひとり取り残さない災害対応を目指して」

今年度の第1回の研修は、昨年に引き続き、基礎研修としてより多くの方にご受講していただくため、オンデマンド配信（eラーニング研修）で実施いたします。講師はいつもわかりやすい言葉で好評の田村先生です。お申込みいただいた配信期間内であれば、ご都合の良い日程で何回でもご覧いただけます。初めて留学ボランティアに登録された方は必ず受講してください！

講師紹介



田村太郎氏

一般財団法人ダイバーシティ研究所代表理事

兵庫県伊丹市生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人への情報提供を機に、1995年「多文化共生センター」を設立。また復興まちづくりのネットワーク組織「神戸復興型」事務局長や、兵庫県「被災者復興支援会議」委員として被災者支援に取り組む。2007年にダイバーシティ研究所を設立。代表理事として企業や自治体による人の多様性配慮の推進に携わる。東日本大震災直後に内閣府企画官に就任し、「震災ボランティア連携室」で官民連携による被災地支援を担当した。復興庁発足後は上席政策調査官、14年より復興推進参与を兼務。共に「好きなまちで仕事を創る」「多文化共生キーワード事典」「自治体施策とユニバーサルデザイン」「阪神大震災と外国人」などがある。ダイバーシティ研究所は阪神大震災（2016年）や西日本豪雨（2018年）、熊本豪雨（2020年）などで自治体と連携した被災世帯調査を実施。災害ケースマネジメントの考え方に基く被災者支援を通した「誰も取り残さない災害対応」をめざしている。

対象者 東京防災（語学）ボランティア 多文化共生に関わる行政職員 国際交流協会職員

研修時間 約1時間（eラーニング研修形式）

定員 なし

日程 I期 9月17日（火）～10月31日（木）
II期 11月11日（月）～12月27日（金）
申込期間 I期 8月27日（火）～9月11日（水）
II期 10月21日（月）～11月7日（木）



田村先生

東京都防災（語学）ボランティア研修

災害現場での異文化理解基礎研修 ～誰ひとり取り残さない災害対応をめざして～

一般財団法人ダイバーシティ研究所
代表理事 田村太郎

オンライン研修の様子

1. 災害のときの外国人支援

「ストック情報」と「フロー情報」のちがいに着目！

人が行動を起こすときの「2つの情報」

- ①これまでの教育・訓練などで蓄積された情報（＝ストック情報）
- ②新しく発生したことや行動してほしいことについての情報（＝フロー情報）



参加者の感想
（一部抜粋）

我々日本在住の日本人が持っているストック情報とその前提が違うというのは、頭ではわかるが、体験してみると本当に大きな相違があるのだと思う。防災時の情報をストック情報とフロー情報、という概念で言語化し区別できたことは非常に有用だったと思う。

東京都防災（語学）ボランティア

東京都防災（語学）ボランティア 活動報告

防災（語学）ボランティアの皆さんの活動の様子をお伝えします。

令和6年度 東京都防災（語学）ボランティア研修②

第2回 災害時に役立つ翻訳の心得 —語学ボランティアの基礎知識—

第2回は、当研修初登場 松本義弘先生による「翻訳の心得」をオンデマンド研修としてI期、II期と時期を分けて一人でも多くの語ボラに視聴して頂けるよう配信しました。プロの翻訳者ではないボランティアが翻訳をするのに必要なデジタル知識、ツールの活用などを学び、これからの活動に大変参考となる研修になりました。

チラシ

東京都

令和6年度

参加費無料

東京都防災（語学）ボランティア研修

オンデマンド開催

第2回

災害時に役立つ翻訳の心得
—語学ボランティアの基礎知識—

今年度の第2回の研修は、翻訳の基礎知識をより多くの方に学んでいただくため、オンデマンド配信（eラーニング研修）で実施いたします。講師は初登場の松本先生です。お申込みいただいた配信期間内であれば、ご都合の良い日程で何回でもご視聴いただけます。特に初めて語学ボランティアに登録された方は必ず受講してください！

講師紹介

松本義弘氏
一般社団法人国際多文化研修ラボ代表理事

2008年から全国の自治体・国際交流協会・社会福祉協議会など延べ130以上の団体で、やさしい日本語・多文化共生・災害時外国人支援の講師・ファシリテーターを務める。「公務員のための外国語活用術」（毛受敏浩著2012年6月29日ぎょうせい：自治体職員向け「やさしい日本語」啓発の草分け書籍）で「やさしい日本語」・「文化通訳」の必要性を訴えている。

対象者 東京防災（語学）ボランティア 多文化共生に関わる行政職員 国際交流協会職員

研修時間 約1時間（eラーニング研修形式）

定員 なし

日程 I期 9月17日（火）～10月31日（木） II期 11月11日（月）～12月27日（金）

申込期間 I期 8月27日（火）～9月11日（水） II期 10月21日（月）～11月7日（木）

災害時に役立つ翻訳の心得 —語学ボランティアの基礎知識—

一般社団法人
国際多文化研修ラボ
代表理事 松本 義弘

松本先生

②支援するとき（翻訳するとき）の心得、接

求められる役割とは？

【多文化共生スキル】

あなたは何語の担当ですか？

その言語は、相手の母語ですか？

世界の言語数は3,000から8,000！

災害時にしかたなくその言語を選択しているかも？

オンライン研修の様子

② ボランティアに求められる役割

求められる役割とは？

【スキルアップ】

（自分の特技を知って、楽しく磨く）

自分の特技って？（日頃から書き出しておく）

YouTubeで検索⇒スキルを磨く！

参加者の感想 （一部抜粋）

- 外国人の立場から物事を考える重要性が理解できた。言語支援ツールは初めて知るものばかりで参考になった。
- 翻訳にまつわる様々な場面での対応に関し要点を説明いただき、とても良い学びの機会となった。

東京都防災（語学）ボランティア

東京都防災（語学）ボランティア活動報告

防災（語学）ボランティアの皆さんの活動の様子をお伝えします。

令和6年度 東京都防災（語学）ボランティア研修③

第3回 災害時に役立つ通訳の心得 —語学ボランティアの基礎知識—

第3回研修は、対面形式で開催しました。ボランティアが通訳をするときの注意点をアビー先生が軽妙な語り口でわかりやすく説明してくださり、講師アシスタントの経験談は大変参考になるものでした。また、講師全員による寸劇「通訳失敗物語」では、通訳を行う際の Do's and Don'ts を理解できました。後半では、実践に近いロールプレイを行い、専門家からの確かな助言と通訳の際の勘所の指摘と指導を頂きました。

チラシ

令和6年度 東京都防災（語学）ボランティア研修

参加費
無料

第3回

災害時に役立つ通訳の心得 —語学ボランティアの基礎知識—

前半では、3者間コミュニケーションにおける通訳ボランティアの心構えと役割、求められるスキルについて学びます。後半では、ロールプレイを通して実際に通訳体験をしていただきます。通訳経験豊富な講師アシスタントが皆様をサポートいたします。通訳の経験がある方もない方も研修を通じて楽しくスキルアップを図りましょう！（基本、研修内容は昨年と同じですが、ロールプレイのシナリオを一部変更しています）

講師紹介 アビー・ニコラス・フリー氏 駒澤大学講師

「外国語を巧みに操れる国際人」という考えに真正面から逆らう哲学を信じる、自称地球人。青少年期は4ヶ国で、体育系と芸術系の両分野を学び、職業に就いた経験を持つ。横浜市教育局、横浜国立大学、ウォーロン・カンザス州立大学、JICA（独立行政法人国際協力機構）等での国際理解・異文化理解・語学講座等の講師を経て、現在は東京の私立大学で教鞭を執る傍ら、神奈川県通訳・翻訳及びその講師を続ける。横浜在住。趣味は日本古典芸能と日本酒を究める学習、それにコーヒーとどう違う美味しいものを作る事と食べる事。

アシスタント講師紹介

きたづめ よしの
北爪 淑乃氏 国際通訳協会
多文化共生コーディネーター
横浜市の通訳ボランティア活動にきっかけに多文化共生に関わる活動を開始。その後、ほどほど国際交流ラウンジ、横浜国際交流協会多文化共生総合センター、東京都外国人労働者に対する支援活動に参加。現在は、国際通訳協会を通じて多文化共生に関わる活動を行っています。

いまい なるこ
今井 菜子氏 多文化共生コーディネーター
多文化共生推進員
大学卒業後、長期企業で海外勤務に従事。2015年より多文化共生推進員（在日外国人労働者）に就任。
行政の経験から「多文化共生」は何か、よく知らずに飛び込んだが「日々の生活、仕事、人間関係」を通じて学んでいる。
現在は、外国人労働者、および子ども日本滞在の経験におもに携わっている。

まきの まゆの
牧野 彩乃氏 国際通訳協会（英語）
国際通訳協会多文化共生推進員
外国人労働者に対する支援活動に参画。大学で国際通訳を専攻。通訳士として活動する傍ら、観光研修の「危機管理・災害対応・通訳」の講師、地区通訳「多文化共生ボランティア」の講師、通訳ボランティア（災害対応分野）講師、JICA主催「通訳ボランティア講座」講師、「外国人労働者に対する支援（危機管理）」講師等を担当。2020年からは公益財団法人 民間国際通訳協会でもボランティア活動を行う。

やぶささ あづさ
藪崎 千鶴子氏 認定NPO法人多文化共生教育
ネットワークがなわ教育相談員
大学でスペイン語専攻。ブライル、サンパウロ市に在任。3年在任。帰国後、スペイン語・ポルトガル語の通訳ボランティア活動を開始。横浜市長選ボランティア、横浜多文化共生総合センター一助、横浜教育委員会、横浜市日本滞在外国人労働者、認定NPO法人多文化共生教育ネットワークがなわ教育相談員等。2022 FIFAワールドカップ東京2020オリンピックの通訳ボランティアで活動。

日時 11月2日（土） 14:00~16:00

会場 東京都消費生活総合センター 17階教室1・II
（最寄り駅 JR・都営地下鉄・東京メトロ 飯田橋駅）
※会場の詳細、地図等は参加決定通知のメールにてご案内いたします。

対象者 東京都防災（語学）ボランティア登録者

申込期間 10月1日（火）~10月23日（水）



真剣にロールプレイをする参加者の皆様



アビー先生とアシスタント講師の皆様

多言語支援センター



参加者の感想
（一部抜粋）

専門家の方々の豊富な経験談やアドバイスが聞けて大変参考になりました。また3つのシナリオによるロールプレイは災害現場を想定したリアルな体験となり、とても有意義なものでした。

東京都防災（語学）ボランティア

東京都防災（語学）ボランティア 活動報告

防災（語学）ボランティアの皆さんの
活動の様子をお伝えします。

令和6年度 東京都防災（語学）ボランティア研修④

第4回 事例研究「多文化社会における災害対応」

第4回は、当研修初登場 横田能洋先生を講師に、今回初めてテーマとなった「水害」にフォーカスし（実は日本の災害の8割が風水害という報告もあります）、実際茨城県常総市の水害で被災された講師と外国人お二人（その後支援者として活躍されている）をお招きしました。その当時撮影されたたくさんの写真とともに体験された臨場感あるお話を聞くことができました。ここ最近多発する大雨や台風による災害について、被災当事者ならではの貴重なお話でした。

公開
講座

令和6年度

東京都防災（語学）ボランティア研修

チラシ

無料

オンライン開催

第4回

事例研究 - 多文化社会における災害対応 - 「常総水害の経験から考える多文化防災のあり方」

東京都では、東京都防災（語学）ボランティアの方々に対して、防災知識や対応力を高めていただくため、研修を実施しています。今回は公開講座として、第一部では2015年の茨城県常総市の水害について、自身も被災者である講師よりご講演いただきます。第二部では同じく被災経験のある外国人パネリストとともに、災害現場の事例を通じ、多文化共生社会における地域防災の形について考えます。

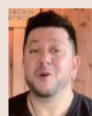
講師紹介

横田能洋氏 認定NPO法人 茨城 NPO センター・コモンズ代表理事
千葉県出身、茨城大学卒業後、茨城県経営者協会にて企業の社会貢献推進などを担当。1998年、NPO法成立を受けて茨城NPOセンター・コモンズを仲間と設立し事務局長に転職。様々な市民活動の相談や研修を行うほか地元の常総市に拠点を置き、日系ブラジル人の就職や子の就学支援を始める。2015年に鬼怒川洪水で拠点が被災し、「助け合いセンター-juntos」を立ち上げる。空き家増大、日本人の人口流出と外国籍住民の増加という地域の変化をうけ、空き家を7棟改修し多文化保育、コミュニティカフェ、シェアハウスを運営。空き家を活用した多文化共生福祉のまちづくりに取り組む。



パネリスト

ウスエイジロウ氏
ブラジルで大学院を出た後、2005年に25歳で来日。食品工場などで仕事をしながら2007年からSNSで日本で暮らすブラジル人に役立つ情報を発信する活動を開始。2015年の鬼怒川水害ではNPOと連携して被災者支援情報を届ける役割になった。



藤本ゆりこ氏
1998年に来日し小中高を出て仕事について通訳をするようになり、2018年からコモンズの教育支援スタッフとして勤務するほかハローワークでも通訳をしている。ピアサポーターとして様々な相談対応を行っている。



たすけあいセンターJUNTOSとは

●設立経緯

9月10日 水害により茨城NPOセンター・コモンズ常総事務所も約1メートル浸水

9月17日 被災者の支援活動と情報発信の拠点として「たすけあいセンターJUNTOS」を立ち上げる

●初期の主な活動

- 被災者向け情報紙の発行
- 支援物資の提供
- 機材・軽トラ等の貸し出し
- 炊き出し・お茶会の開催
- 被災した受験生向け学習支援
- 在宅避難者の調査と市への



横田先生



藤本さん



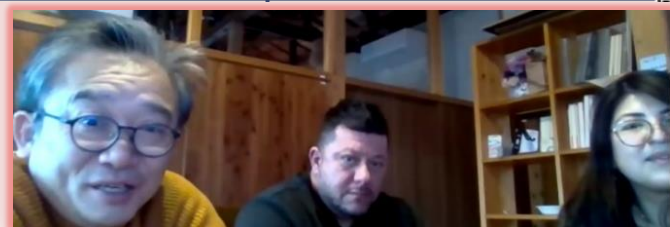
ウスイさん

日時 **12月12日(木)**
14:00~16:00

申込期間 **11月11日(月)**
~12月3日(火)

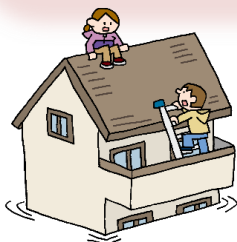
対象者 東京都防災（語学）ボランティア
外国人の支援に携わる方、本テーマに興味のある方

開催方法 Zoomによるオンライン開催



参加者の感想
(一部抜粋)

外国人の生活感を理解しておくことの必要性を感じた。
活動されている方の体験談は為になる。



東京都防災（語学）ボランティア

2015年9月10日のあさ

- 常総市の横田家の近くには鬼怒川という大きな川が流れています。
- よく川の土手に散歩にいけますが、いつもと景色がちがいます。



スライドの一部

令和6年度 東京都防災（語学）ボランティア 平常時派遣実績

平常時派遣とは？

発災時の外国人への通訳/翻訳支援の他、平常時においても、外国語の支援が必要となる場合に東京都防災（語学）ボランティアの派遣要請を受け付けています。

【対象となる事業】

- ★ 東京都の防災訓練
- ★ 東京都の各局、都内区市町村及び区市町村が設置する団体が実施する事業 など

【令和6年度 派遣実績】

- ☆ 災害時外国人支援情報コーディネーター養成研修（6月）
英語、中国語、スペイン語
- ☆ 外国人のためのリレー専門家相談会（7月）
中国語
- ☆ 総合防災訓練（9月、11月）
英語、中国語
- ☆ 都立高校入学準備説明会（2月）
英語、中国語、ネパール語、ミャンマー語



今年度もどうぞよろしく
お願いします